

富本憲吉 (白磁器) 1985年
【令和5年度新収蔵】

本展覧会 (初夏) 1955-57年頃
【令和5年度新収蔵】

2024
6.18 | 火 |
↓
7.21 | 日 |

林康夫 (陶器) 1978年
【令和5年度新収蔵】

小林敬生 (陶はまごまご一馬 pagoda) 2022D-3 | 2022年
【令和5年度新収蔵】

Collection Exhibition Phase I: Recent Acquisitions

コレクシヨン展 第1期
新収蔵作品展

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

前掲時間 | 9:00-17:00 (入館は閉館30分前まで)
※ただし、7月7日 (日) は19:00まで開催
休館日 | 月曜日 (祝日の場合は翌平日)
観覧料 | 一般300 (240) 円、大学生200 (160) 円*、高校生以下無料*
*学生証をご提示ください。()内は20名以上の団体料金/障がい者等芸術鑑賞券・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者福祉手帳の提示を受けられている方は、観覧料無料。
受付で各手帳等(スマートフォンアプリ「3ライクD」も利用可能)をご提示下さい。
会場 | 東広島市立美術館 3F、2F 観覧室 主催 | 東広島市立美術館

東広島市立美術館の近現代版画、現代陶芸、郷土ゆかりの作品を中心としたコレクションは、総数1,100点以上にのぼります。2020年の市街地西条への新築移転以降、2024年3月までに約330点が新たなコレクションとして加わりました。

本展では、県内で染色家として活躍した杉谷富代（令和3年度新収蔵）による色銅版画や、八本松町で制作を続ける彫刻家ゼロ・ヒガシダ（令和4年度新収蔵）などのほか、幼少期を東広島で過ごした小林敬生が緻密に描き出す木口木版画や、1947年四耕会への参加以降、前衛的な陶のオブジェに取り組む林康夫の1970年代から2010年代の作品、富本憲吉による白磁など令和5年度新収蔵作品を中心として、現代作家による青白磁を交えながら約50点を展覧します。

陶芸や版画、彫刻による多彩な表現とともに、新たな作品たちとの出会いをお楽しみいただけますと幸いです。

本展のみどころ

◎近代陶芸の巨匠・富本憲吉や前衛陶芸の先駆者の1人・林康夫など近年新収蔵となった作品を中心に選りすぐりの作品をご紹介します。

◎東広島や県内で活躍した作家の版画や彫刻を展覧。

■ 開催概要

展覧会名 | コレクション展第1期 新収蔵作品展

会 期 | 2024年6月18日（火）～7月21日（日）

時 間 | 9：00～17：00（入館は閉館30分前まで／ただし、7月7日（日）は19：00まで開館）

休 館 日 | 月曜日（祝日の場合は翌平日）

会 場 | 東広島市立美術館 3F・2F展示室

主 催 | 東広島市立美術館

観 覧 料 | 一般300円、大学生200円*、高校生以下無料*

*当日券に限り20名以上の団体2割引

*学生証をご提示ください／後期高齢者医療被保険者証・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられている方は、無料でご観覧いただけます。

■ 展示構成

第1章「陶のかたちと表現—白磁からオブジェ陶まで」

富本憲吉をはじめとする、白磁の磁器や青磁、色絵磁器を中心とした多彩な表現の磁器作品を特集するとともに、前衛的な陶のオブジェを制作している林康夫の作品をまとめてご紹介します。



富本憲吉 《白磁壺》 1935年

第2章「彫刻—幾何学・人体・生命」

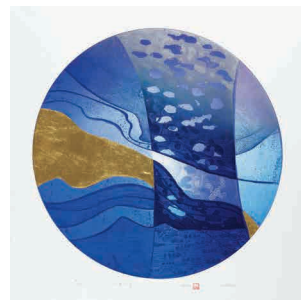
キュビズムの影響を受けた彫刻を制作したオシップ・ザッキンや、東広島在住で金属彫刻で生命の祈りを表現するゼロ・ヒガシダ、西条中央公園の《詠曲》を制作した日高定光などの作品をご紹介します。



ゼロ・ヒガシダ 《INOCHI》 2008年

第3章「広島ゆかりの版画家を中心に」

永瀬義郎や小林敬生など東広島ゆかりの版画家のほか、県内で活躍した染色家・杉谷富代がパリで学んだ色銅版画などをご紹介します。



杉谷富代 《いつまでも》 1995年

■ 関連イベント

1 ギャラリートーク

担当学芸員が展示の見どころについてお話ししながらご案内します。

日時 | 6月29日(土) 14:00-15:00

会場 | 3F、2F 展示室 (要観覧券・申込不要)



※画像は過去に実施したギャラリートークの様子です。

2 ミュージアムコンサート

フルートとクラリネットによる演奏会です。展示にちなんだ楽曲をお届けします。

日時 | 7月7日(日) 14:00-14:45

演奏 | 東広島ウィンドアンサンブル

会場 | 1F ロビースペース (申込不要・参加無料)



※画像は過去に開催したコンサートの様子です。

3 びじゅつかんで七夕を楽しもう！

七夕の由来を学びながら、折り紙で「七つ飾り」をつくります。

日時 | 7月6日(土) ① 10:00-12:00 ② 13:00-15:00

講師 | ハーレー静代 (折り紙作家)

会場 | 1F アートスペースほか

定員 | 各回 20名 (事前申込制・参加無料) ※お申込みは1組2名まで

対象 | 小学生以上 (小学生は保護者同伴)

締切 | 往復ハガキ: 6月21日(金) 必着



■ 講師プロフィール

1957年生まれ。長野県出身。東広島市高屋町在住の折り紙作家。日本折紙協会認定・折紙師範、日本体育協会公認スポーツ指導者の資格を持つ。96年から、市立高屋西小PTA活動の「親子折り紙教室」、98年からは東広島ケーブルメディアの「おりがみ大好き!!」に出演するなど、市内で折り紙の楽しさや素晴らしさを伝える活動を25年続けている。



©Pressnet Co., Ltd.

東広島市立美術館 広報用画像申込書

■FAX 082-430-7118 ■ 2636026@izumi-techno.jp (東広島市立美術館 指定管理者 (株)イズミテクノ)

申し込みフォーム			
貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		E-mail	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL	FAX	
放送日	年 月 日	掲載号発売日	年 月 日
放送/掲載内容			
画像データの必要期限	年 月 日まで		

広報用画像一覧掲載ご希望の画像 (□にチェックをいれてください)			
① <input type="checkbox"/>		④ <input type="checkbox"/>	
② <input type="checkbox"/>		⑤ <input type="checkbox"/>	
③ <input type="checkbox"/>		⑥ <input type="checkbox"/>	
		⑦ <input type="checkbox"/>	
		⑧ <input type="checkbox"/>	

■作品キャプション

① 富本憲吉 《白磁壺》 1935年

② 林康夫 《邂逅》 1978年

③ 永瀬義郎 《初夏》 1955-57年頃

④ 小林敬生 《陽はまた昇る—塔 (pagoda) 2022D—》 2022年

⑤ 杉谷富代 《いつまでも》 1995年

⑥ ゼロ・ヒガシダ 《INOCHI》 2008年

⑦ 前田昭博 《白瓷捻面取壺》 1999年

⑧ 久保田厚子 《青白磁秋草大皿》 2012年